

ごあいさつ

本日は、アートロード《東海ステーションギャラリー展》にご来場賜わり誠にありがとうございます。1988年に発足いたしましたアートロード展は、今年で第28回を迎えることができました。

発足当初は美術連盟の有志45名、協賛店14店舗でスタートいたしましたが、1992年の第4回展からは書と写真部門、2010年からは華道と工芸部門の有志が参加し、現在は会員93名、協賛店32店舗で活動しております。

28年間一度も中止することなく継続できましたことは、参加協賛店さん、東海村行政、東海村教育委員会、東海村文化・スポーツ振興財団等のご理解とご協力の賜物であり、さらには会員皆さんの日々の努力と熱意があったからこそその成果です。この機会に改めて感謝申し上げる次第です。

ここで《アートロード展》とはどういうものか簡単に説明させていただきます。

美術作品は、美術館とかギャラリー等の展示会場に出向いて鑑賞することが主体ですが、我々はそういう方法にとらわれず、私たちが住んでいる東海村の街並みそのものを展示館に見立てて、村民の皆様が日頃利用している商店街の喫茶店、レストラン、食事処、理容室、住宅展示場、金融機関あるいは役場、原子力施設等のロビーや空いた壁面に、会員が制作した絵画、書、写真、彫刻、華道、工芸作品を一定期間展示し、村民の皆様が買い物等でたまたま訪れられた折にそれらの作品に出合って、『ホッ』とするひとときを味わって頂ければ幸いという発想を原点にしております。つまり、『暮らしの中の美術館』をテーマに、芸術文化の街“Art Road”づくりを目指して、年に一度の展示活動をしております。

この《東海ステーションギャラリー展》は、アートロード展の発信基地として2月20日まで、また各協賛店では4月末日まで展示しておりますので、パンフレットを参考にご覧頂ければと思います。

アートロード展には、アートロード実行委員会に、会員または協賛店として登録して頂ければ、どなたでも自由に参加できます。随時募集をしておりますので、ご希望の方は事務局あるいはお近くの会員に是非ご連絡くださりますようお願いしております。

東海村アートロード実行委員会 委員長 堀川 豊彦
事務局長 塙 千恵子